

- ③ 食堂棟
鉄筋コンクリート造平屋建 面積 328.6㎡
(昭和53年2月15日完成)
- ④ 野外活動センター
鉄筋コンクリート造平屋建 面積91.8㎡
(昭和49年2月15日完成以下ロッジ、炊飯場、便所同期日完成)
- ⑤ ロッジ
木造平屋建 面積 34.02㎡ 7棟
- ⑥ 炊事場
鉄筋コンクリート造平屋建 面積28㎡ 2棟
- ⑦ 便所(水洗)
鉄筋コンクリート造平屋建 面積 23.87㎡ 2棟
- ⑧ 乾燥室
鉄骨造平屋建(石油温風暖房機 脱水機各1基)
面積66㎡(昭和53年10月15日完成)
- ⑨ 倉庫
ブロック造平屋建 面積90㎡(昭和49年2月15日完成)
- ⑩ 薪置場
鉄骨造平屋建 面積 25.92㎡(昭和53年3月23日完成)
- ⑪ 公舎
所長公舎1戸 職員公舎2戸(昭和49年2月15日完成)

(4) 野外施設

- ① プール
25m×15m(7コース) 水深0.9m～1.1m 循環ろ過装置、更衣室(男・女)、水洗便所、消毒槽、シャワー完備(昭和48年9月5日完成)
- ② キャンプ場
ロッジ、炊飯場、野外活動センター、テントサイト、野外便所等設置、面積12,000㎡
- ③ つどいの広場野外照明
400W4基(2基単位に二箇所へ設置)
(昭和53年10月19日設置)
- ④ つどいの広場アスファルト舗装 面積 740.8㎡
(昭和53年12月10日完成)
- ⑤ 運動場
面積12,000㎡
- ⑥ 営火場(3箇所)
- ⑦ その他の野外活動施設
そり場、サーキットコース、オリエンテーリングコース、自然観察コース、自然遊歩道

(5) 宿泊定員

- ① 本館 166名
ロッジ 140名(4月15日～10月31日のみ使用。希望によりテント使用も可能)

(6) 備品

- ① 体育用備品
 - ㊦ 屋外
ソフトボール、軟式野球、サッカー、オリエンテーリング用具一式、スノーボード(140台)
 - ㊧ 屋内
卓球台(7面)、バスケットボール、バレーボール、バトミントン各一式、セフティマット(2)、平均台

- ② 野常用備品
テント(6人用39張)、寝具(寝袋、寝袋用シーツ)、炊飯用具一式
- ③ 学芸用備品
プラネタリウム(可搬式)、16mm映写機、プレーヤー、OHP、ワイヤレスマイク、スクリーン(2台)、録音機(2台)、カセットテープ式録音機(2台)、ステレオ、幻灯機、ピアノ、エレクトーン、アコーディオン(2台)、トランシーバー(3台)、テレビ、ハンドスピーカー(2台)、ギター(2台)、図画板(150枚)、鉱物標本

第3節 利用状況

少年自然の家の利用は、①学校教育の一環として利用する場合、②少年団体等社会教育関係団体が利用する場合、③少年団体指導者養成のために市町村教育委員会等が利用する場合、④県並びに少年自然の家の主催事業に参加する場合等に大別される。

本年度の利用総人員は267団体(前年度は278団体)、研修実人員18,984人(前年度は21,632人)、延べ研修人員48,028人(前年度は52,569人)であったが、その詳細な利用状況は次のとおりである。

1 学校が利用したもの

利用した学校、学年、研修人員並びに研修内容は表1のとおりである。

2 社会教育関係団体等が利用したもの

利用団体、研修人員並びに研修内容は表2の1及び表2の2のとおりである。

3 少年団体指導者養成のために利用したもの

主催団体、研修内容、参加対象並びに研修人員は表3のとおりである。

4 少年自然の家の主催事業

(1) 親子つづじめぐり

- ① 目的
海拔876mの御霊櫃峠へ登山し、頂上一面に花開くつづじを探勝しながら、他家族との共同生活やレクリエーションなどを通じて楽しいひとときをおくる。
- ② 期日、会場、参加者数
ア 期日 昭和53年6月17日～18日 1泊2日
イ 会場 福島県少年自然の家
ウ 対象及び参加者数
県内に居住する小・中学生とその親
参加者 55名
- ③ 研修内容
○御霊櫃峠つづじめぐり ○スコアオリエンテーリング大会 ○交歓会